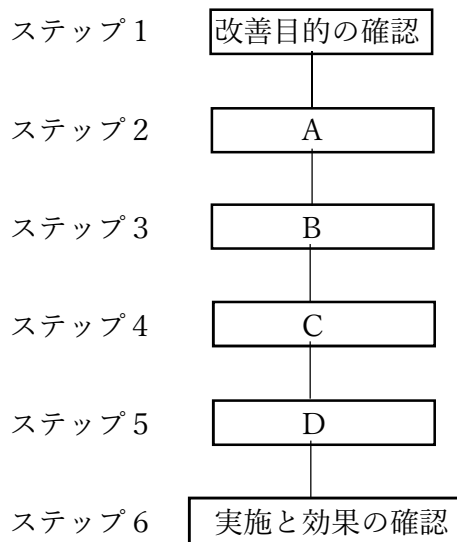


4. 企業活動と情報システム

4. 3システム戦略（業務改善）

問題 1

図は、業務改善の進め方を六つのステップに分解したものである。A～D のそれぞれにはア～エに示す活動のいずれかが対応する場合、C に該当する活動はどれか。



ア. 改善案の策定

イ. 改善案の詳細

ウ. 改善目標の設定

エ. 問題の把握

問題 2

グループウェアの導入目的として、適切なものはどれか。

ア. PC、周辺機器などの機器に組み込んで、ハードウェアの基本的な制御を行う。

イ. 共同作業の場を提供することによって、組織としての業務効率を高める。

ウ. ハードウェアとソフトウェアが一体となったセキュリティ製品の導入によって、企業におけるインターネット利用のセキュリティを強化する。

エ. パッケージ化されたソフトウェア群を導入することによって、システムの開発期間の短縮及び保守の効率化を図る。

問題 3

元々は友人・知人間のコミュニケーションを促進する目的であったが、現在は企業でも活用されるインターネット上の会員制 Web サイトサービスはどれか。

ア. SNS

イ. チャット

ウ. ブログ

エ. ポータルサイト

問題 4

社内の決済申請手続の迅速化と省力化を狙いとして導入するシステムはどれか。

ア. MRP システム

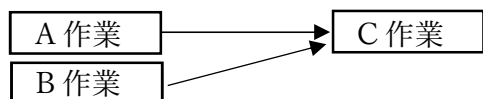
イ. POS システム

ウ. SFA システム

エ. ワークフローシステム

問題 5

A 作業、B 作業、C 作業からなる図のような業務プロセスがある。情報システムを導入することで改善できるとき、製品を 1 個製造するために必要な作業工数は改善前に比べて何%削除されるか。ここで、図の矢印は作業順序を表し、作業工数は“要員数×作業時間”で計算する。



【改善前】

- ・各作業の要員数は 10 名
- ・製品 1 個当たりの所要作業時間は、A 作業は 3 時間、B 作業は 3 時間、C 作業は 4 時間である。

【改善後】

- ・A 作業に必要な要員数が半分になる。
- ・C 作業の製品 1 個当たりの所要作業時間が半分になる。

ア. 15 イ. 20 ウ. 30 エ. 35

4. 3 システム戦略（ソリューションビジネス）

問題 1

SI（System Integration）に関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. 業務内容を改善して、業務プロセスを再構築する。
- イ. 自社の業務過程の一部を、より得意とする外部の企業に委託する。
- ウ. 情報システムの企画、構築、運用などの業務を一括して請け負う。
- エ. ソフトウェアの必要な機能だけを選択して購入できる。

問題 2

ASP に関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. インターネットに接続する通信回線を提供する事業者、またはそのサービス形態
- イ. 会員になったユーザが閲覧できる、閉じたコミュニティを形成するインターネット上のサービス
- ウ. サーバ上のアプリケーションソフトウェアを、インターネット経由でユーザに提供する事業者、またはそのサービス形態
- エ. 情報システムをハードウェアやソフトウェアといった製品からの視点ではなく、ユーザが利用するサービスという観点から構築していこうとする考え方

問題 3

通信事業者の通信設備やサーバの一部を利用者が利用できるサービスはどれか。

- ア. アウトソーシング イ. ソリューションビジネス
- ウ. ハウジングサービス エ. ホスティングサービス

問題 4

インターネットを介してコンピュータの資源を提供することで、ユーザが使いたいときに、使いたい資源を簡単に利用できる形態はどれか。

- ア. クラウドコンピューティング イ. クラスタリング
- ウ. シンククライアントシステム エ. フォールトトレラントシステム

問題 5

SOA (Service Oriented Architecture) とは、サービスの組合せでシステムを構築する考え方である。SOA を採用するメリットとして、適切なものはどれか。

- ア. システムの処理スピードが向上する。
- イ. システムのセキュリティが強化される。
- ウ. シェットシステム利用者への教育が不要となる。
- エ. 柔軟性のあるシステム開発が可能となる。

問題 6

自社で利用する購買システムの導入に当たり、外部サービスである SaaS を利用した事例はどれか。

- ア. サービス事業者から提供される購買業務アプリケーションのうち、自社で利用したい機能だけをインターネット経由で利用する。
- イ. サービス事業者から提供されるサーバ、OS 及び汎用データベースの機能を利用して、自社の購買システムを構築し、インターネット経由で利用する。
- ウ. サービス事業者から提供されるサーバ上に、自社の購買システムを構築し、インターネット経由で利用する。
- エ. 自社の購買システムが稼働する自社のサーバをサービス事業者の施設に設置して、インターネット経由で理由する。

問題 7

BPO に関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. 自社ではサーバを所有せずに、通信事業者などが保有するサーバの処理能力や記憶容量の一部を借りてシステムを運用することである。
- イ. 自社ではソフトウェアを所有せずに、外部の専門業者が提供するソフトウェアの機能をネットワーク経由で活用することである。
- ウ. 自社の管理部門やコールセンタなど特定部門の業務プロセス全般を、業務システムの運用などとともに、外部の専門業者に委託することである。
- エ. 自社よりも人件費の安い派遣会社の社員を活用することで、ソフトウェア開発の費用を低減させることである。

4. 3 システム戦略 (システム企画)

問題 1

システム化計画の立案は、ソフトウェアライフサイクルのどのプロセスに含まれるか。

- ア. 運用 イ. 開発 ウ. 企画 エ. 要件

問題 2

ソフトウェアライフサイクルを、企画プロセス、要件定義プロセス、開発プロセス、運用プロセスに分けるとき、要求定義プロセスの実施内容として、適切なものはどれか。

- ア. 業務及びシステムの移行 イ. システム化計画の立案
- ウ. ソフトウェアの詳細設計 エ. 利害関係者のニーズの識別

問題 3

システム開発における、委託先の選定に関する手順として、適切なものはどれか。

- a. REP の提示 b. 委託契約の締結
- c. 委託先の決定 d. 提案書の評価
- ア. a → c → d → b イ. a → d → c → b
- ウ. c → a → b → d エ. c → b → a → d

問題 4

- ベンダに対して行う検収に関する説明として、適切なものはどれか。
- ア. ベンダから取り寄せた見積書を確認し、それに基づいて注文を行うこと
 - イ. ベンダからの納品物が要求した仕様書どおりであるかの確認を行うこと
 - ウ. ベンダに対して、システム提案の検討依頼を行うこと
 - エ. ベンダに対して、情報収集のため情報提供依頼を行うこと

問題 5

- X 社のシステム部門に所属している A 氏は、自社の会計システムの再定義／プロジェクトの責任者を任された。システムの再構築、企画プロセス、要件定義プロセス、開発プロセスの順に進めるとき、企画プロセスにおけるシステム化計画の立案作業で A 社実施する作業として、適切なものはどれか。
- ア. 画面、帳票などのユーザインタフェース要件を確定する。
 - イ. システムに対する制約条件や業務要件について、関係者の合意を得る。
 - ウ. 提案依頼書を作成し、ベンダ企業に提案書の提出を求める。
 - エ. 品質、コスト、納期の目標値と優先順位を設定する。

問題 6

- 証券業を営む A 社は、システムベンダの B 社に株式注文システム構築プロジェクトを委託している。当該プロジェクトの運用テストにおいて、A 社が定めている“株式注文時の責任者承認における例外ルール”を B 社が把握できていなかったことに起因する不良を発見した。ルールを明らかにするのはどの段階で行うべきであったか。
- ア. 業務案件の定義
 - イ. システムテスト要件の定義
 - ウ. システム要件の定義
 - エ. ソフトウェア要件の定義

問題 7

表は、ベンダ 4 社の提案書を管理面、技術面、価格面のそれぞれについて評価した値である。管理面、技術面、価格面の各値に重み付けをし、その合計が最高点のベンダを調達先に選定するとき、選定されるベンダはどれか。

評価項目	重み	A 社	B 社	C 社	D 社
管理面	2	2	4	3	3
技術面	3	3	4	2	3
価格面	5	4	2	4	3

- ア. A 社
- イ. B 社
- ウ. C 社
- エ. D 社